

## 平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ACKグループ  
 コード番号 2498 URL <http://www.ack-g.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画開発本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 廣谷 彰彦  
 (氏名) 森田 信彦

TEL 03-6311-6641

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	12,809	△0.7	△703	—	△525	—	△181	—
24年9月期第2四半期	12,896	11.5	△774	—	△725	—	△423	—

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 △148百万円 (—%) 24年9月期第2四半期 △408百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	△35.66	—
24年9月期第2四半期	△83.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第2四半期	25,193	5,021	19.9	979.34
24年9月期	17,338	5,432	29.8	1,020.22

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 5,021百万円 24年9月期 5,174百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	7.50	7.50
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,400	7.1	470	25.2	430	24.5	410	80.5	80.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	5,840,420 株	24年9月期	5,840,420 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	713,251 株	24年9月期	768,881 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	5,103,327 株	24年9月期2Q	5,071,539 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、国内の社会基盤整備やエネルギーの安定的供給の確保を目的とした国土強靱化等の新政権の各種政策への期待感から、円高傾向の修正や、株式市場の活性化が進展し、輸出環境や企業の業況判断に改善の兆しが見られる等、景気回復への期待が高まっております。

このような環境のなか、当社グループでは、国内分野におきましては、震災後の復興による公共事業の増加、公共・民間ともに防災や再生可能エネルギー利用に資するサービスへの需要の高まりもあり、受注高は112億8百万円(前年同四半期比4.8%増)となりました。

国内公共分野におきましては、震災復興関連の調査・設計業務の受注が増大し、施工計画の策定や施工管理等の支援など、被災地の復興に注力いたしました。また、需要の高まる地域防災への対応や、インフラ保全・運営管理、官民連携による太陽光発電の整備等、再生可能エネルギー導入による地域活性化の検討、提案を実施してまいりました。

国内民間分野では、都心再開発に係るビル解体工事や土壌汚染調査に係る対策工事の受注を拡大いたしました。

海外分野につきましては、受注見込みのうち発注が第3四半期以降に延期となった案件の影響もあり、当第2四半期連結累計期間における海外分野の受注高は41億9百万円(前年同四半期比24.4%減)となっております。

売上高につきましては、当社グループは売上高の割合が3月以降に偏る季節変動特性を有しております。一方で、販売費及び一般管理費は年間を通じて平均的に発生するため、第3四半期連結累計期間までは営業損失を計上する傾向にあります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は128億9百万円(前年同四半期比0.7%減)、営業損失7億3百万円(前年同四半期は7億74百万円の損失)となりました。経常損失は為替差益等の要因で5億25百万円(前年同四半期は7億25百万円の損失)と損失額が縮小しております。また、連結子会社である株式会社中央設計技術研究所の株式を追加取得した際に、特別利益として負ののれん発生益1億94百万円を計上したことなどに伴い、四半期純損失は1億81百万円(前年同四半期は4億23百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (インフラ・マネジメントサービス事業)

インフラ・マネジメントサービス事業の売上高は97億84百万円(前年同四半期比0.3%増)となりました。損益面におきましては、原価率の改善等により営業損失は6億22百万円(前年同四半期は7億82百万円の損失)と改善しております。

#### (環境マネジメント事業)

環境マネジメント事業は、震災復興関連や新規案件により、売上高は27億69百万円(前年同四半期比0.2%減)となりました。営業利益は2百万円(前年同四半期比94.7%減)となっております。

#### (その他事業)

その他事業の売上高は7億1百万円(前年同四半期比1.2%減)となり、営業損失84百万円(前年同四半期は170百万円の損失)となっております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (資金調達の状況)

当社グループの業務の工期は3月に集中しており、例年、納品後の4月、5月に売上代金の回収が集中するため、3月まで運転資金の需要が大きく、借入残高も3月まで段階的に増加する傾向にあります。この資金需要に備えるためコミットメント・ライン契約、当座借越契約並びに長期借入契約を締結しているほか、私募債を発行しております。

### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は251億93百万円と前連結会計年度末に比べ78億54百万円増加しました。これは主に、未成業務支出金の増加30億4百万円及び、現金及び預金の増加27億20百万円、受取手形及び売掛金の増加16億71百万円によるものであります。なお、未成業務支出金については、当社グループにおける業務の売上時期が3月以降に集中することから例年大幅に増加するものであります。

### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債は201億71百万円と前連結会計年度末に比べ82億65百万円増加しました。これは主に、3月に向けて段階的に増加していく運転資金を賄うための借入金の増加49億71百万円及び、未成業務受入金の増加26億97百万円によるものであります。

### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は50億21百万円と前連結会計年度末に比べ4億11百万円減少しました。これは第2四半期連結累計期間において季節変動特性により四半期純損失を計上し、利益剰余金が減少していること及び、連結子会社株式の追加取得により少数株主持分が2億58百万円減少したためであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績につきましては、概ね予想通りに推移しております。現時点におきましては、平成24年11月14日に発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,634,820	4,355,018
受取手形及び売掛金	4,814,074	6,485,709
商品	4,328	6,767
未成業務支出金	5,274,362	8,278,383
繰延税金資産	577,715	799,484
その他	657,256	914,178
貸倒引当金	△9,864	△30,102
流動資産合計	12,952,693	20,809,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	861,157	845,721
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	328,908	324,405
土地	976,522	976,522
その他（純額）	52,501	112,019
有形固定資産合計	2,219,090	2,258,669
無形固定資産		
ソフトウェア	259,428	244,425
のれん	664,959	598,024
その他	58,318	57,069
無形固定資産合計	982,706	899,519
投資その他の資産		
投資有価証券	265,075	309,488
長期貸付金	15,478	12,322
差入保証金	715,040	713,616
繰延税金資産	77,022	57,634
破産更生債権等	23,709	23,347
その他	95,959	119,983
貸倒引当金	△24,310	△22,823
投資その他の資産合計	1,167,975	1,213,570
固定資産合計	4,369,771	4,371,758
繰延資産		
社債発行費	15,908	11,942
繰延資産合計	15,908	11,942
資産合計	17,338,373	25,193,139

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,867,241	2,291,046
未成業務受入金	4,079,871	6,777,833
短期借入金	710,880	5,782,265
1年内償還予定の社債	340,000	340,000
未払法人税等	81,930	79,250
賞与引当金	530,003	980,740
受注損失引当金	301,967	507,356
その他	1,611,154	1,403,054
流動負債合計	9,523,047	18,161,546
固定負債		
社債	850,000	680,000
長期借入金	400,000	300,000
退職給付引当金	405,784	326,864
役員退職慰労引当金	199,166	208,176
負ののれん	184,800	147,840
繰延税金負債	262,491	273,780
その他	80,703	73,715
固定負債合計	2,382,946	2,010,377
負債合計	11,905,994	20,171,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,062	503,062
資本剰余金	748,244	747,953
利益剰余金	4,206,833	3,986,797
自己株式	△292,383	△272,412
株主資本合計	5,165,756	4,965,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,314	55,815
その他の包括利益累計額合計	8,314	55,815
少数株主持分	258,308	—
純資産合計	5,432,379	5,021,216
負債純資産合計	17,338,373	25,193,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	12,896,441	12,809,813
売上原価	10,173,093	10,122,324
売上総利益	2,723,348	2,687,489
販売費及び一般管理費	3,497,955	3,390,662
営業損失(△)	△774,607	△703,173
営業外収益		
受取利息	2,161	1,446
受取配当金	2,906	4,205
為替差益	46,206	149,204
負ののれん償却額	36,960	36,960
その他	34,690	48,245
営業外収益合計	122,924	240,063
営業外費用		
支払利息	30,517	23,093
支払手数料	26,394	2,912
持分法による投資損失	2,160	21,246
その他	15,239	14,856
営業外費用合計	74,311	62,109
経常損失(△)	△725,994	△525,219
特別利益		
負ののれん発生益	—	194,519
特別利益合計	—	194,519
税金等調整前四半期純損失(△)	△725,994	△330,699
法人税、住民税及び事業税	32,178	70,786
法人税等調整額	△334,515	△204,996
法人税等合計	△302,337	△134,209
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△423,657	△196,489
少数株主利益又は少数株主損失(△)	190	△14,490
四半期純損失(△)	△423,848	△181,999



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△423,657	△196,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,465	47,501
その他の包括利益合計	15,465	47,501
四半期包括利益	△408,191	△148,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△408,397	△134,498
少数株主に係る四半期包括利益	205	△14,490

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△725,994	△330,699
減価償却費	130,179	137,923
のれん償却額	66,934	66,934
負ののれん償却額	△36,960	△36,960
負ののれん発生益	—	△194,519
賞与引当金の増減額(△は減少)	582,201	450,736
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△42,911	9,010
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△78,866	△78,920
受注損失引当金の増減額(△は減少)	42,634	205,388
受取利息及び受取配当金	△5,067	△5,652
支払利息	30,517	23,093
売上債権の増減額(△は増加)	△1,447,108	△1,671,634
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,886,451	△3,006,459
仕入債務の増減額(△は減少)	850,946	423,804
未成業務受入金の増減額(△は減少)	2,750,791	2,697,962
その他	531,769	△548,859
小計	762,614	△1,858,851
利息及び配当金の受取額	4,643	5,239
利息の支払額	△29,984	△20,794
法人税等の支払額	△27,086	△59,981
その他の支出	△38,714	△16,625
その他の収入	29,331	43,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	700,805	△1,907,688
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	30,000	—
投資有価証券の取得による支出	△152,588	△3,795
投資有価証券の売却による収入	1,880	—
有形固定資産の取得による支出	△291,966	△102,525
有形固定資産の売却による収入	—	2,870
無形固定資産の取得による支出	△19,020	△34,260
子会社株式の取得による支出	—	△28,342
短期貸付金の増減額(△は増加)	—	△10,000
長期貸付けによる支出	△2,742	△150
長期貸付金の回収による収入	4,374	3,305
保険積立金の解約による収入	5,358	2,536
敷金及び保証金の差入による支出	△113,077	—
敷金及び保証金の回収による収入	301,911	—
その他	10	958
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,859	△169,403

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,309,294	5,000,000
長期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
社債の償還による支出	△170,000	△170,000
配当金の支払額	△38,036	△37,873
少数株主への配当金の支払額	△1,725	△1,275
その他	△4,278	△4,888
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,045,253	4,735,962
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,482	61,326
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,528,681	2,720,198
現金及び現金同等物の期首残高	1,237,167	1,634,820
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△11,613	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,754,235	4,355,018

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インフラ・ マネジメント サービス	環境 マネジメント	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,752,567	2,753,137	390,736	12,896,441	—	12,896,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,502	21,110	318,755	344,367	△344,367	—
計	9,757,069	2,774,247	709,491	13,240,809	△344,367	12,896,441
セグメント利益又は損失(△)	△782,803	43,412	△70,805	△810,196	35,589	△774,607

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△810,196
セグメント間取引消去	210,365
全社費用	△174,776
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△774,607

(注) 全社費用は報告セグメントに帰属しない費用であり、内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 地域に関する情報

売上高

(単位：千円)

日本	アジア	中近東	その他	計
8,299,311	3,262,412	501,968	832,749	12,896,441

(注) 売上高は業務の対象国を基礎とし、地理的近接度により国又は地域に分類しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インフラ・ マネジメン サービス	環境 マネジメン ト	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,721,765	2,671,222	416,825	12,809,813	—	12,809,813
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62,877	98,479	284,250	445,607	△445,607	—
計	9,784,643	2,769,701	701,075	13,255,421	△445,607	12,809,813
セグメント利益又は損失(△)	△622,117	2,297	△84,209	△704,029	855	△703,173

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△704,029
セグメント間取引消去	187,955
全社費用	△187,100
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△703,173

(注) 全社費用は報告セグメントに帰属しない費用であり、内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当連結会計年度において、インフラ・マネジメンサービス事業において194,519千円の負ののれん発生益を計上しております。これは、連結子会社株式を追加取得したことによるものです。

4. 地域に関する情報

売上高

(単位：千円)

日本	アジア	中近東	その他	計
7,756,586	2,966,243	1,026,468	1,060,514	12,809,813

(注) 売上高は業務の対象国を基礎とし、地理的近接度により国又は地域に分類しております。